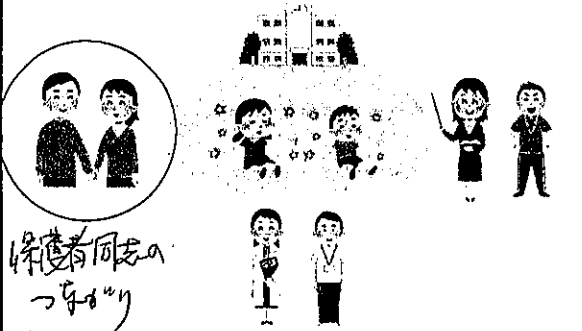


保護者の「つながり」を大切にする

希望丘小学校 スクールカウンセラー
金田一 賢顕

(金)

子どもを育む環境づくり

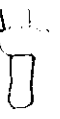


保護者同士の
つながり

本日の目標



保護者の「つながり」を大切にする



本日の流れ

- ▶ ① 架空事例から考える 低学年
- ▶ — グループディスカッション

- ▶ ② 架空事例から考える 中・高学年
- ▶ — 反抗期について
- ▶ — グループディスカッション

事例から考える

その前に アイスブレイク

- ▶ 自己紹介
- ▶ ①〇年〇組 〇〇です。

- ▶ ②〇〇さんの隣の、△年△組 △△です。
- ▶ ③〇〇さんの隣の△△さんの隣の、□年□組の□□です。
- ▶ ④同上

反抗期について考える

・ディスカッションのルール

- ①批評・批判はなし
- ②質より量の意見
- ③「～と、私は思います」
- ④メモはOKですが、個人の情報メモは避けてください。

小学2年生になった娘がいます。幼稚園の頃から友達におもちゃをもっていかれて、イヤとはいえずどちらかど大穴のい子です。先日、学校から帰ってきて娘から意地悪されたという訴えがありました。話をきくと、仲良しグループだったお友達がお友達にひそひそ話をし、仲間はずれにされたそうです。頼として、どのように応えればよかったのか、子どもの心とだからのお友達とおして解決できるようにしてもらいたければどこまでどのように白ましても良いのか。また、おとなしい性格からか、お友達からいじめられやすく、もっと自己主張ができるような子になってもらうにはどんな関わり方をすればよいのか。


- ・「いじわるされた」との訴えにどのように応えればよいのか？
- ・どこまで口をだいたらよいのか？
- ・もっと自己主張ができる子になってもらうにはどんな関わり方をすればよいのか。

発達に伴う友達グループのあり方

表1 友達グループを構成する人数

学年	性別	1人	2人	3～4人	5人以上	n
2年	男子	1368.4%	0.0%	1921.1%	2410.5%	19
	女子	1074.4%	0.0%	2114.3%	2414.3%	14
4年	男子	850.0%	0.0%	6437.7%	146.25%	15
	女子	2416.7%	0.0%	2475.0%	0.0%	11
6年	男子	3423.1%	0.0%	8461.5%	147.7%	12
	女子	2413.3%	146.7%	9460.0%	3420.0%	15

事例から考える

小学校5年生の架空事例 

小学校5年生の息子がいます。最近、ちょっと態度が反抗的になってきて、どう対応していいか、分からなくなる時があります。質問をしてもなかなか返事をしないので、少し強い口調で尋ねると、「うるさい」など怒ってしまい、常にイライラしたりしている様子。家では学校から帰ってくると、勉強はそちのけで携帯ゲームに夢中です。そのためか、テストの成績も下がる一方です。ある日、このままではだめだと思い、かなり抵抗されましたが、ゲームを取り上げました。

「ふざけるな！」の一言を言い残し、とうとう部屋に閉じこもってしまい、出てこなくなりました。部屋の中では、ドンドンと壁や物にあたっているような音が何度もしています。そして一言「返してくれなかったら、家出してやるからな！本気だからな」という声が聞こえてきました

反抗期ってどんな印象がありますか？

- 「子ども」から「大人」への変わる時期
- 身体と心の成長による不安定な時期
- 自分とは何かわからなくなる時期
- 自立しようとする気持ちと「分離」する不安な時期



「反抗」ではなく「葛藤」という視点

▶「葛藤」とは・・・

→2つ以上のぶつかる欲求がでてきて、その欲求の強さがほぼ同じ時に、どちらを選ぶべきか決定することが難しく、緊張した状態。



「依存」と「自立」

▶ 親子間の葛藤は、思春期、青年期にかぎらず成人を過ぎた以降にも存在し、変化していく可能性がある。

親子関係のつくりなおし

▶ 子どもの視点

→今までの「理想的な」親象が崩れていく、それでも現実を受け入れていく時期



▶ 親からの視点

→子離れを実感していく時期で、親と子どもが一体的で言うことを聞いてくれていた時期から、子どもが自立的に行動し離れていく寂しさ

自立のサイン

「世代」の移り変わり

▶ 生涯にわたる親子のいくつかの節目

→子どもを通して自分が「親」を実感するとき



「育てられる」から「育てる」へ

「自分もこういうときがあったんだ」という気持ち

→「私の思い」を私の親もかつてしていたに違いないという気持ち

具体的にどう対応していけばいいの？



Horizontal lines for writing answers.

具体的にどのように対応をしたらいいの？

小学校5年生の息子がいます。最近、ちょっと態度が反抗的になってきて、どう対応していいか、分からなくなる時があります。質問をしてもなかなか返事をしないので、少し強い口調で尋ねると、「うるさい」など怒ってしまい、常にイライラしたりしている様子。家では学校から帰ってくると、勉強はそっちのけで携帯ゲームに夢中です。そのためか、昼夜逆転して、学校も休みがちに。テストの成績も下がる一方で、ある日、このままではだめだと思い、かなり抵抗されましたが、ゲームを取り上げました。

「ふざけるな！」の一言を言い残し、とうとう部屋に閉じこもってしまい、出てこなくなりました。部屋の中では、ドンドンと壁や物にあたっているような音が何度もしています。そして一言「返してくれなかったら、もう学校いかないからな！本気だからな」という声が聞こえてきました



Horizontal lines for writing answers.

小学校5年生の架空事例



小学校5年生の息子がいます。最近、ちょっと態度が反抗的になってきて、どう対応していいか、分からなくなる時があります。質問をしてもなかなか返事をしないので、少し強い口調で尋ねると、「うるさい」など怒ってしまい、常にイライラしたりしている様子。家では学校から帰ってくると、勉強はそっちのけで携帯ゲームに夢中です。そのためか、テストの成績も下がる一方で、ある日、このままではだめだと思い、かなり抵抗されましたが、ゲームを取り上げました。

「ふざけるな！」の一言を言い残し、とうとう部屋に閉じこもってしまい、出てこなくなりました。部屋の中では、ドンドンと壁や物にあたっているような音が何度もしています。そして一言「返してくれなかったら、家出してやるからな！本気だからな」という声が聞こえてきました

Horizontal lines for writing answers.

具体的にどう対応したらいいの？

ほめること、叱ることを考える

暴言、暴力、物壊しの対応について考える

Horizontal lines for writing.

ほめること、叱ることを考える

「ほめて育てればよい」のみを考えていること

一できていることを「ほめる」のはもったいないことも

例:「すごいね、お母さんが帰ってくるまでに宿題終わっていたんだね、偉いね」



「お母さんが帰ってくるまでに宿題が終わっていなければダメな子」という意味が盲点になる。

例えば、約束事をまもったら、ほめる



Horizontal lines for writing.

ほめること、叱ることを考える

子どもを「叱れない」一子どもを叱りすぎると病気になる

一病気になる例を考える

ある日、ママを責めたらバチッと叩かれた。その時、昨日は7回とほしたけど怒られなかった。今日は、1回しかとほしてなくて怒られた。お父さんが帰ってきて、「何で怒ってるの!」と怒られた。お父さんが帰ってきて、いつかおぼろげにしたら、「うるさい!」とはねのける。

一いつ怒られるかわからないので、ビクビクしてしまい、家の中でどうしていればいいのかわからなくなってしまう。

→「叱る」ことの意図が明確になれば、ある意味で子ども納得できる。



Horizontal lines for writing.

具体的にどのように対応したらいいの？

小学校5年生の息子がいます。最近、ちょっと態度が反抗的になってきて、どう対応していいか、分からなくなる時があります。質問をしてもなかなか返事をしないので、少し強い口調で尋ねると、「うるさい」など怒ってしまい、常にイライラしたりしている様子。家では学校から帰ってくると、勉強はそっちのけで携帯ゲームに夢中です。そのためか、昼夜逆転して、学校も休みがちに。テストの成績も下がる一方です。ある日、このままではだめだと思い、かなり抵抗されましたが、ゲームを取り上げました。

「ふざけるな！」の一言を言い残し、とうとう部屋に閉じこもってしまい、出てこなくなりました。部屋の中で、ドンドンと壁や物にあたっているような音が何度もしています。そして一言「返してくれなかったら、もう学校行かないからな！本気だからな」。という声が聞こえてきました



Horizontal lines for writing.

具体的にどう対応したらいいの？

Horizontal lines for writing.

具体的にどのように対応したらいいの？

日頃からわが家のルールを作っておく

ルールを守ってもらうために

Horizontal lines for writing.

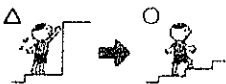


わが家のルール作り方・守り方のコツ

- ▶ スモールステップから
- ▶ わかりやすく具体的に
- ▶ ルールの存在を確認する
- ▶ 保護者も一緒に「守る」(金太郎飴になる)
- ▶ 「警察」にならない

日頃からわが家のルールを作っておく

- まずは、他愛もないことをルールしてみる
- スモールステップの原理(実際にできることから)



- 具体的に伝える
- 例 きちんと片付ける × → 読んだ本は本棚へ ○



日頃からわが家のルールを作っておく

- ▶ ルールを守らないと損をする経験
- 例:「学校を休んだら、ゲームはやらない」



学校を休んだら「損」をするという経験につながる
 →「家」がエンターテイメント化しすぎると、しぶりやすくなる。

保護者も一緒に守る

▶ 金太郎あめ作戦(ほめる・しかるポイントを一定にする)



▶ 子どもとルールづくりすることは、保護者も一緒に守る



ルールを守ってもらうために

▶ ルールを日々伝える

—「時間」と「距離」の関係

「5秒前に約束したこと」—「5日前に約束したこと」

どちらが守りやすいか？

例:「夕飯前に宿題をやる」—やらなかった

「明日はきちんと宿題をやるのよ・・・」→24時間開いてしまう

例えば、「お母さんが2階に行って帰ってくるまえに宿題をやってみる。3分くらいで帰ってくるからね」

ルールを守ってもらうために

▶ わが子は「いつでもルールを守るだろう」と考える事

—ルールを守れない場合もある

▶ 親が警察官のように取り締まること

—「うそ」「言い訳」「他人のせいにする」「失敗を隠す」という行動が増えてしまう可能性



第2回 家庭教育学級 「こんな時どうする？子どもの悩み相談」のご報告

日頃より家庭教育学級委員会にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

10月20日（金）に開催した第2回家庭教育学級「こんな時どうする？子どもの悩み相談」には53名の方々にご参加いただきました。

本校スクールカウンセラー金田一賢顕先生から貴重なお話をいただき、同年代の子どもを持つお母さん方とのグループディスカッションを通して意見交換を行うことが出来、大変有意義な時間となりました。

★ 子どもが傷ついている場合の親としての対応についてグループで話し合いました。



- 子どもの気持ちに共感する
- 時間、日にちを置いて話を聞く
- 他に目を向けるよう促す
- 子どもの不満を発散させる

★ 反抗期を迎えた子どもへの対応・心構えについて先生から専門的なお話を伺いました。

- 子離れを実感する時期。寂しさを感じたら自立のサイン
- 必ず終わりがありますよ
- 1人で抱え込まず、スクールカウンセリングを利用してください



【ご参加くださった方々の感想】

- 同学年のお母さんたちとグループになり色々な意見が聞けて大変参考になりました。
- 子どもとの関わり方に少し悩み、立ち止まっていたので話が聞けて良かったです。
- 時間が足りず詳しく聞けない部分があったので、学年を分けて再度機会を作って欲しいです。
- 同じ学年でも知らない方が多かったので、顔見知りの方が増えて良かったです。
- ルール作りの話は参考になりました。実践していきたいです。

ご参加・ご協力くださったみなさまに、心から感謝申し上げます。